

# 第1章 江南市総合計画達成状況報告書の 基本的な考え方

## 1. 江南市総合計画達成状況報告書とは

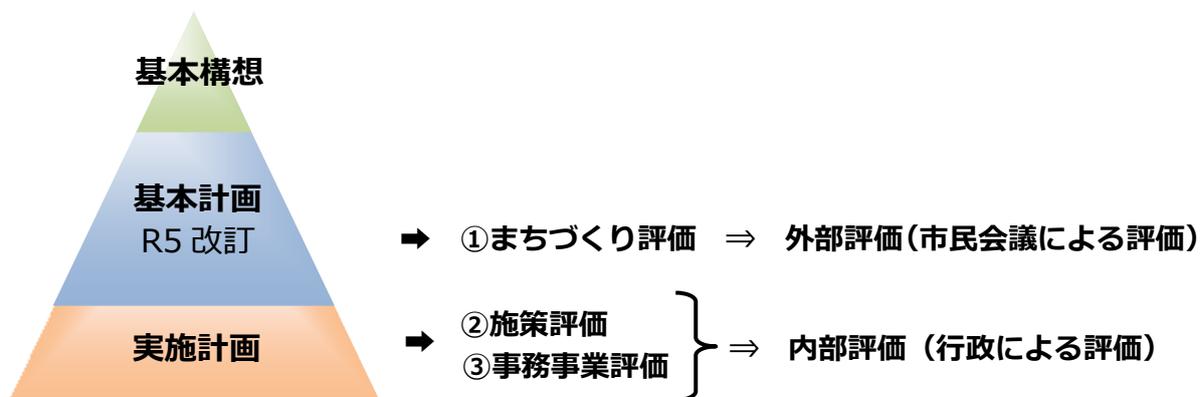
「第6次江南市総合計画」の進行管理は、基本計画に掲げた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより、成果の発現状況を確認し、今後の改善方策を検討します。

基本計画の成果目標は、市民計画である「基本構想」の実現に向けたプロセスであることから、市民会議を設置し、分野別計画の優先度に応じた検討と達成状況の確認を行い、短期的には「実施計画」への反映、中期的には次期の「基本計画」への見直しへと反映させることとしています。

こうした進行管理の結果について、広く市民が共有できるよう、取りまとめたものが「江南市総合計画達成状況報告書」です。

## 2. 江南市総合計画の進行管理

第6次江南市総合計画の進行管理は、まちづくり評価・施策評価・事務事業評価の3つの行政評価を実施しています。



## 3. 行政評価の機能

### ①まちづくり評価

基本計画に掲げられた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより、成果の発現状況を確認し、今後の改善方策を検討します。

### ② 施策評価

第6次江南市総合計画の各施策の成果目標について、その達成度を評価することにより、取組状況を確認、改善方策を検討し、実施計画などに反映させます。

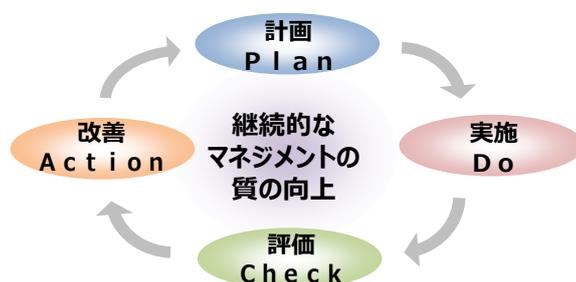
### ③ 事務事業評価

事務事業について、その取組状況を評価、改善方策を検討し、取組状況と目標達成状況からその結果を事業展開や予算編成などに反映させます。

## 4. PDCAサイクル

第6次江南市総合計画は計画の策定[Plan]、実施[Do]、成果測定(評価)[Check]、改善[Action]というPDCAサイクルを通じて適切に運用します。

【PDCAサイクルのイメージ】



## 5. 江南市総合計画市民会議の役割

各分野のまちづくり評価、意見交換を行い、基本計画の見直しの検討を行うことで、江南市総合計画達成状況報告書を作成することが目的です。

### ① 江南市総合計画市民会議の委員

任期: 令和5年11月から令和7年3月

人数: 28名

#### 【内訳】

分科会(第1～第3) 28名: 各分科会に市民公募3名、各種団体代表3名、担当課長2、3名

全体会議 11名: 分科会の正副会長、各分野の代表課長

### ② 市民代表の委員の役割

- ・ 市民の立場から各分野の達成状況の検証と達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・ 市民の立場から市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること
- ・ 市民の立場から各分野の基本計画の見直しについて、意見を述べること
- ・ 総合計画を推進するための方法についてアイデアを出し、また、そのための活動を可能な範囲内で実践すること

### ③市職員の委員の役割

- ・ 各分野の計画の達成状況について、説明と検証を行うこと
- ・ 市役所の立場から各分野の計画の達成状況に応じた改善方策について、意見を述べること
- ・ 市役所の立場から各分野の基本計画の見直しに向けた意見を述べること
- ・ 市民の取り組みについての情報提供や意見を述べること

### ④江南市総合計画市民会議の主な取り組み

#### 《令和5年度》

前期基本計画について意見交換

後期基本計画について意見交換

(分科会9回、全体会議2回開催)

#### 《令和6年度》

江南市総合計画達成状況報告書について

意見交換

(分科会3回、全体会議1回開催)



### ⑤結果の公表

江南市総合計画市民会議での結果については、広く市民が共有できるよう、「江南市総合計画達成状況報告書」としてとりまとめ、広報こうなん、市ホームページ等で公表していきます。